

令和4年度成果発表会 国難級災害を乗り越えるために 2023 「情報でつなぎ、災害対応を変える。」

理事長 林 春男

2月6日にトルコ南部で発生したトルコ・シリア地震では5万人を超える方が亡くなられたと報道されています。犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの方に心からお見舞いを申し上げます。

防災科研は、一人ひとりが基礎的防災力を持ち、すぐれたレジリエンスを備えた社会の構築に貢献するべく、あらゆる自然災害を対象にしてその予測・予防、発災後の応急対応、復旧・復興までのすべてのフェイズを対象に、防災科学技術の総合的な研究開発を進めてまいりました。その成果を広く皆さまに知っていただくために、毎年、成果発表会を開いております。本年もハイブリッド形式を採用いたしました。

令和4年度も池上彰先生を特別ゲストコメンテーターとしてお招きし、ユーザーの視点から忌憚のないご意見をいただきました。池上先生には令和元年度の成果発表会から4年連続でお付き合いをいただいたこととなります。

本年度の成果発表会も、3部構成で実施しました。

第1部では防災科研の研究者による4つの最新の研究成果を紹介しました。

第2部では、研究者一人ひとりが作成し、YouTubeで一般の皆さまにご視聴いただいた研究紹介動画の優秀賞の表彰を行いました。

第3部のパネルディスカッションでは、国難級災害を乗り越えるために何をすべきか、何ができるか考える「国難シリーズ」の3回目です。令和2年度は「予測」、令和3年度は「予防」、そして本年度は発災後の「対応」の問題を考えました。

南海トラフ地震などの国難級災害が今世紀中に起こることは間違いありません。人口減少の進む我が国でいかに国難級災害を乗り越えるか、皆さまと共に考えていきたいと思っております。

